

新潟県鉄骨工業組合新潟支部 研修視察会

研 修 視 察 記 録

- 1・ 視察場所及びルート
- 2・ 研修視察記録
- 3・ 参考文献 日鐵住金建材「築山に逃げろ」
- 4・ 参加者名簿

平成24年10月

新潟県鉄骨工業組合新潟支部 研修視察会

研修視察記録

日程：平成24年10月12日(金)～13日(土)
参加者：20名

1・10月12日研修

(1)日鐵住金建材(株)仙台製造所

2011.3.11東北地方太平洋沖地震による津波にて工場は壊滅したが、犠牲者は出なかった。
犠牲者が出なかった要因と工場の復旧を勉強した。
(参考記事添付)



・仙台製造所全景



・被災状況と復旧の勉強



・自社開発の防潮堤前にて記念撮影

(2) 五大堂・瑞巖寺の見学



五大堂は案内板によると「平安時代初期の807年、坂上田村麻呂がこの島に毘沙門堂を建て、828年、慈覚大師が瑞巖寺の前身、松島寺を建てて、ここに五大明王を祀り、五大堂と呼ぶようになった。現在の建物は1604年、伊達政宗が紀州(和歌山県)の名工鶴衛門家次に命じて建立した。方三間の宝形造で、四方に勾欄つきの縁を巡らし、正面の向拝をつける。内部に重厚な家形厨子を置き、五大明王像を安置する。有名な墓股の彫刻など、雄健な桃山建築として、**国重要文化財**に指定されている。独立した島の上に透橋を架け、五大堂が建っている様は松島を代表とする景観の1つで、御本尊の五大明王は33年毎しか御開帳(一般公開)されない珍しいものです



すかし橋 - 五大堂が建立された小島に架けられた橋。橋げたの隙間から海が見え、五大堂へ行く際に足元を見て気を引き締めるために造られたと言われている。



瑞巖寺

開創は平安の初めにさかのぼります。天長5年(828年)比叡山延暦寺第三代座主慈覚大師円仁が淳和天皇の詔勅を奉じ、3000の学生・堂衆とともに松島に来て寺を建立しました。この寺は延暦寺と比肩すべき意を持って延福寺と命名され、平泉・藤原氏の外護を受けました。

慶長5年(1600年)関ヶ原の戦いが終了した後、仙台に治府を定めた伊達政宗は、仙台城の造営と併せて神社仏閣の造営も行い、塩竈神社・仙台大崎八幡宮・陸奥国分寺薬師堂を相次いで完成させました。

当寺の造営は特に心血を注いだ事業でした。用材を紀州(和歌山県)熊野山中から伐り出し、海上を筏に組んで運びました。大工は梅村彦左衛門家次一家や、刑部(鶴)左衛門国次ら名工130名を招き寄せております。工事は慶長9年(1604年)、政宗自ら縄張りを行って始まりました。丸4年の歳月をかけ、慶長14年(1609年)に

現存する本堂・御成玄関、庫裡・回廊は国宝に、御成門・中門・太鼓塀は国の重要文化財に指定されております。

(3) 松島大観荘にて懇親と休息



2・10月13日研修
(1)震災の爪あと・・・野蒜駅の惨状

地元ボランティアの方が当時の状況を案内してくれました。



(2) 震災の爪あと・・・南三陸及び防災センターの惨状(ネット記事転用)

大きな揺れの後、津波の来襲と高台への避難をひたすら呼び掛け続けた。

津波に押しつぶされた宮城県南三陸町で防災放送の担当職員だった遠藤未希さん(24)。

11日、未希さんは2階で放送していた。「6メートルの津波が来ます。避難してください」

海岸にいた両親にもその声が届いた。

庁舎に残った職員約30人、助かったのは10人。高台に避難した人からも波にさらわれる職員の姿が見えた。

未希さんは昨年7月に婚姻届を出し、今年9月の披露宴に向け楽しそうに準備していた。

母の美恵子さんは「放送が途中で切れた」と知人に聞かされた。最後の方は声が震えていたという。

「放送するのに精いっぱい、逃げられなかったんだろうね。実際は怖かったと思う。

母親の私が守ってあげられなくて。申し訳なくて」

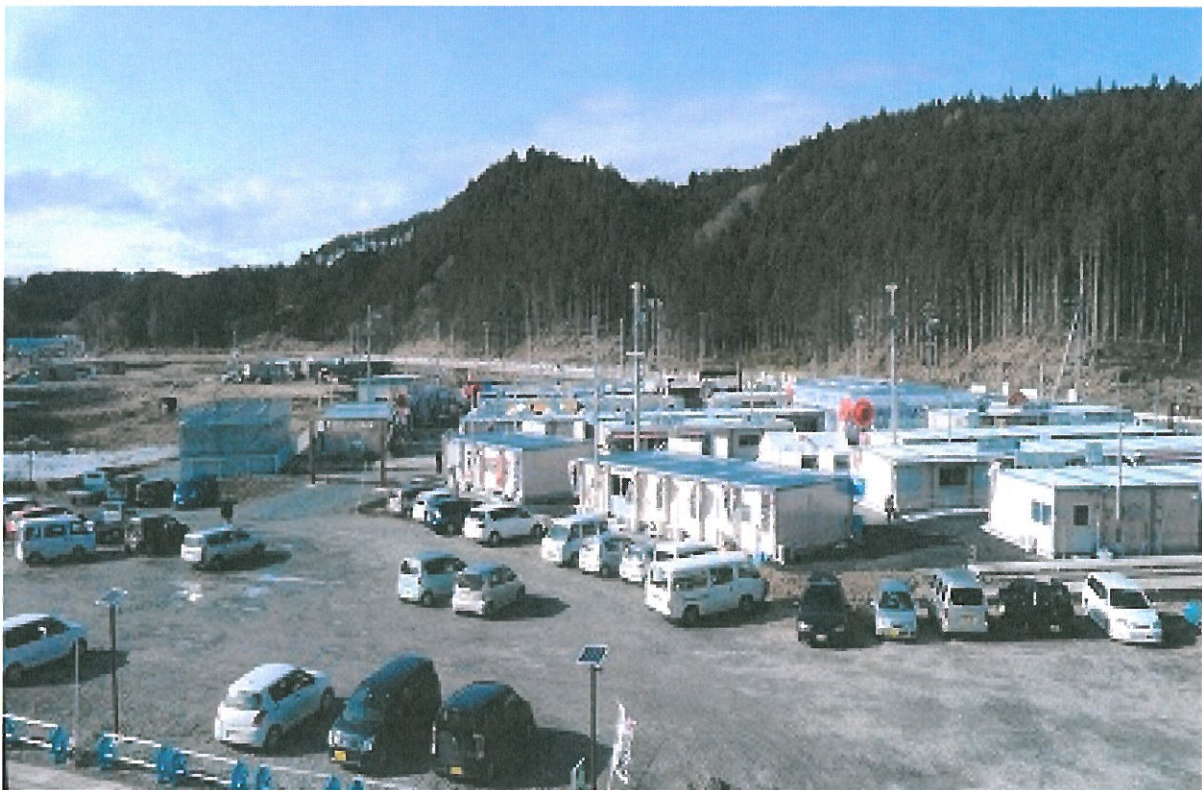
町は人口約1万7千人。約8千人の所在が分からず、避難所へ逃げた女性(64)は「あの放送でたくさんの方が助かった。町民のために最後まで責任を全うしてくれたのだから」と思いやった。

「『ご苦労さま。ありがとう』という言葉をかけてあげたい」と父清喜さんは涙ぐんだ。



(3)復興支援

南三陸さんさん商店街にて昼食、土産などで復興支援を行って、帰路についた。



苦闘 企業の前線(5) 築山に逃げろ(日鉄住金建材仙台製造所)

2011-07-28

テーマ: 減災-記録と記憶

苦闘 企業の前線(5) 築山に逃げろ(日鉄住金建材仙台製造所)

地震発生から約1時間10分後、築山(中央)の周囲に押し寄せた津波(日鉄住金建材提供)

仙台港周辺は、大津波で多くの工場や商業施設が被害を受けた。日鉄住金建材仙台製造所(宮城野区港)も工場1階が水没したが、従業員は敷地内の築山に登り、難を逃れた。企業が受け継いできた危機管理と宮城県沖地震の教訓が、未曾有の震災から従業員の命を守った。

◎鉄則通り避難、命守る／受け継いだ危機管理

3月11日午後3時55分。不気味なごう音とともに押し寄せてきた津波は、築山をのみ込むような勢いで、足元の1メートル下まで迫ってきた。

築山の高さは、海面から約10メートル。製造所と協力企業の従業員約70人と、周辺の住民約40人が避難していた。

「木に登る人もいた。本当に紙一重だった」。昨年7月に仙台製造所長として赴任した平山憲治さん(50)は、死と隣り合わせになった恐怖を振り返る。

余震と津波警報がやまない中、全員がたき火をして一夜を明かした。工場事務所は1階が水没。周辺には、車や家が流れ込んでいた。

多くの命を守った避難行動。「伝えられてきたことが生きた」と平山さん。地震が起きたら築山へ。工場で「偉大なるマンネリ」と言われる危機管理の鉄則だった。

築山は1977年、操業を始めた工場の地下設備を建設する際に出た土砂で造った。近隣への騒音対策の一環だった。

築山避難をマニュアルに明記したのは2003年。毎年11月の防災訓練に組み込み、避難完了時間は年々短縮していた。震災前の3月9日、宮城県北で震度5弱を記録した地震でも、従業員は迷わず築山に登った。

3月11日の避難も迅速だった。震度6強の揺れから5分後、工場の天井にあるクレーンを操作していた6人を除く全従業員が築山へ。15分後には6人も駆け付け、全員の無事を確認した。

避難して30分、40分たっても津波が来る気配はない。家族を心配する従業員は「もう大丈夫だ」「帰らせてくれ」といらいだち始めた。

「絶対に動くな。命令だ」。平山さんの指示は揺るがなかった。直後、巨大津波が来襲した。

平山さんの固い意志を支えたのは、携帯電話を通じて刻々と伝えられた情報。発信先は震度5の揺れに見舞われた東京の本社ビルだった。

「早くしないと、つながなくなる」。7階にいた生産技術部長(当時)の元木健一さん(57)は、机の下に避難しながら平山さんの携帯を鳴らした。

元木さんは00～06年、仙台製造所に勤務。02年7月から所長に就き、築山避難を提唱した。

震災直後、78年の宮城県沖地震を体験した先輩がうるさいほど言っていた言葉を思い出した。「情報はライフラインだ」。元木さんは「自然に体が動いた。電話1本をつなぎっぱなしにしたのが役に立った」と言う。

築山の情報は会議室のホワイトボードに書き込み、現地にはテレビが映し出す津波の様子を伝え続けた。携帯電話の電池切れに備え、従業員の携帯4台の番号も把握。築山と本社をつなぐ電話は、11日夜までほぼ途切れることがなかった。

仙台製造所の損失額は約58億円に上る見通しだ。電気はまだ復旧していないが、新日鉄グループ各社から約50人の応援を受け、8月中の一部設備の再稼働を目指す。

新日鉄グループは防災マニュアルの見直しを始めた。製造所の対応を「津波も想定した防災、避難訓練を定期的実施していたことが迅速な初動につながった」と(広報センター)と評価する。

あの日、仙台製造所の鋼管工場長が仙台市内での研修会から工場へ戻る途中、津波に巻き込まれ死亡した。製造所でただ一人の犠牲者だった。取締役として仙台製造所の復旧に当たる元木さんは「亡くなった工場長のためにも、防災対策をさらに進める」と誓う。

(加藤健太郎)

平成24年10月11日

新潟県鉄骨工業組合新潟支部

平成24年度 研修視察参加者一覧表

日 程 :平成24年10月12日(金)～13日(土)

No.	乗車場所	出発時間 及び人数	会社名	参加者氏名		
1	新潟駅	AM7:00発 (12名)	大川スチール(株)	小野 雅明		
2			鎌ヶ谷巧業(株)	野島 直弘		
3			(株)斎藤鉄工所	斎藤 和成		
4			(有)釣巻工業	釣巻 達哉		
5			(株)中村鉄工所	中村 公		
6			藤木鉄工(株)	荒井 義雄		
7			水島鉄工(株)	時田 賀裕		
8			洪井鋼材(株)	五十嵐 健二		
9			石崎ボルト(有)	石崎 雄一		
10			(株)カナヤマ	櫻井 一央		
11			(株)アイ・テック 新潟支店	佐藤 栄作		
12			近藤與助工業(株)	田辺 親彦		
13	亀田IC	AM7:10発 (1名)	(有)石井鉄骨工業	石井 久以知		
14	豊栄SA	AM7:20発 (1名)	藤木鉄工(株)	並川 栄三		
15	聖籠新 発田 IC	AM7:30発 (4名)	(株)高山鉄工所	高山 勇二		
16			(株)富岡鉄工所	富岡 正彦		
17			ファブ・エス(株)	菅家 裕光		
18			(株)マルサン	菅 明寿		
19	R7とR113 の交差点	AM7:50発 (1名)	渡辺鉄工(株)	渡辺 孝夫		
20	日鐵住金で合流		(株)鋼構造出版	佐藤 岳彦		